

さきほど 5 月 1 日(土)10 時 27 分頃、宮城県で最大震度 5 強を観測する地震があり、東北、北海道および関東地方まで広く揺れました。気象庁によると、震源は 宮城県沖で、震源の深さは約 60km、地震の規模(マグニチュード)は 6.6 と推定されます、とのこと。

この地震に関して、宮城県柴田の観測点に 4 月 22 日ごろから大きく真っ赤なデータが出ていて、この地震の前兆をとらえていたと考えられ、4 月 29 日に一段減衰してきたのですが 残念ながら直前情報や臨時メールは出せませんでした。

こうした大きな塊状のデータが出て、大地震が起きるまでは 通常はもっと長い時間がかかります。いままでの経験上、データの減衰一収束後、20 日間程度かかることが多いことや、東北地方の観測点がまだ少なく同期したデータや徐々に減衰してくるような山型のデータが無いことから、4 月 28 日配信の逆ラジオ通信では <しばらく経過を見て参ります。>としてしまい、残念でした。発震が早かったのは 4 日前の 4 月 27 日が満月だったのでそのトリガーの影響も考えられます。

参考までに 以下に宮城県柴田の観測点のデータでの状況を記します。

地震発生 5 月 1 日(土)10 時 27 分頃、宮城県沖M6.6 (最大震度 5 強)



210501 10 : 27 宮城県沖 M6.6 D60 k m

★★逆ラジオ通信★★ No.17W-210428 (4 月 28 日配信)

東北地方：【宮城柴田】は 4/22 にデータが急増し、以降赤の 100 万前後の大きな壁立ち状で推移しています。周囲の観測点に同期したものが見られないので、しばらく経過を見て参ります。

宮城県柴田の観測点 4月26日まで30日間データ

MAX150万の真っ赤なかたまり状の巨大データが4月22日ごろから急に発生している。



宮城県柴田の観測点 5月1日まで15日間データ

4月29日に1段減衰して緑色の弱いノイズに変わってきている。



地震発生のタイミング

